

Product Introduction

JOZENJI STREET CIRCULAR PROJECT Produce

定禅寺通発オリジナルタンブラー
「JSCタンブラー」

第一弾



ケヤキの緑を
イメージした
モスグリーン

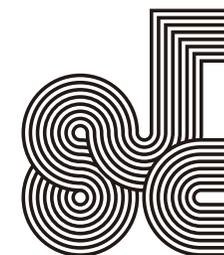
木目調

これまで焼却処分されていた定禅寺通のケヤキの剪定枝と、仙台市の各家庭から収集したプラスチック資源を混合し、資源を無駄にしないこ定禅寺通にしかないオリジナルタンブラーを製作しました。

定禅寺通のケヤキ並木をイメージし、木目調で色はモスグリーンとしました。また、強度や安全性にも配慮して全体を特殊樹脂でコーティングしています。

資源循環を象徴するサステナブルなタンブラーを、ぜひ一度手にとってみませんか。

JSCタンブラーの売り上げの一部は定禅寺通のまちづくりに還元されます



JOZENJI
STREET
CIRCULAR
PROJECT



定禅寺通
エリアマネジメント

JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

定禅寺通エリアの継続的な価値向上に寄与する
エリアマネジメントに取り組むまちづくり団体。
2022年4月設立



Think Green. Think Future.

ここ定禅寺通から、緑あふれる未来を。

定禅寺通は、仙台都心の北側に位置する、西公園通から駅前通を結び、ケヤキやイチョウ並木が続く全長約1,400mの通りです。

特に東二番丁通より西は、4列のケヤキ並木が美しく、主要な文化交流施設があり、また定禅寺ストリートジャズフェスティバルやSENDAI光のページェントをはじめとする様々なイベントの舞台として、市民や多くの来訪者にも愛される杜の都のシンボルロードです。

そのような杜の都・仙台を象徴する定禅寺通エリアの魅力を向上させ、次世代につないでいくため、一般社団法人定禅寺通エリアマネジメントは、定禅寺通エリアまちづくり基本構想「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」のもとに、エリア価値向上につながる様々な取り組みをしています。



詳しくはこちら▼





JOZENJI STREET CIRCULAR PROJECT

JOZENJI STREETCIRCULAR PROJECT (定禅寺通サーキュラープロジェクト)

定禅寺通エリアから資源循環の取組みを創造、発信することで、企業や市民の環境意識醸成を図り、「杜の都」から「The Greenest City」へと進化する仙台市のモデルエリアとなることを目的に発足しました。

ここ定禅寺通エリアから発信力を高めることで、仙台都心部のみならず、仙台市全域、宮城県、更には東北一丸となった取組みとなることを目指しています。

ロゴはJ.S.Cをひと続きにし、循環を表現。未来へつなげるプロジェクトであること、素材を利活用することを視覚的に表しています。

プロジェクト第一弾 オリジナルタンブラー概要

今年度はプロジェクトの第一弾として、ケヤキ並木から連想されるサステナブル・エコロジーなイメージを見て・触れて・感じていただける、オリジナルタンブラーを開発しました。オリジナルタンブラーを開発しました。今後も多様なステークホルダーと共に資源循環型社会の実現のために、取組みを続けていきます。



支援・原材料提供



企画支援・製造



定禅寺通
エリアマネジメント
JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

全体企画・活用普及

仙台市は、令和5年4月より、製品プラスチックの一括回収を開始。全国で第1号となる、プラスチックの再商品化計画の大臣認定を取得しています。



1

ケヤキの枝を剪定し
仙台市が回収



2

枝をケヤキチップに加工
さらにケヤキパウダーに
加工



3

ケヤキパウダーと
プラスチック資源で
ペレットを形成



4

タンブラーを
射出成形
コーティングして完成



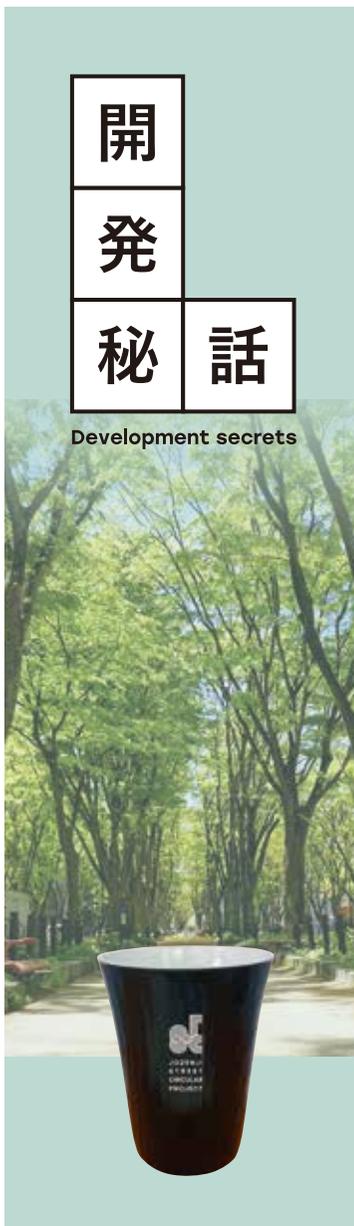
5

定禅寺通エリアの
ブランディングに活用
イベントで活用
飲食店への普及



開発秘話

Development secrets



定禅寺通
街づくり協議会
佐藤 晶洋 会長

定禅寺通街づくり協議会は、杜の都・仙台を象徴する定禅寺通の魅力向上させ、次世代につないでいくため、多様な関係者と連携し、まちづくりを推進することを目的として活動しています。

仙台は緑豊かな街ですが、その中でも定禅寺通は日本一のケヤキ並木と緑道を有しており、大きな魅力となっています。また、これまでに定禅寺通では市民主体によりケヤキ並木を生かした様々な取り組みが行われてきました。今後は、ケヤキ並木の魅力をより多様な活動に活かし、エリアの価値をさらに高めつつ、ケヤキ並木の魅力を後世に継承する街を目指していきたいと考えています。

ケヤキを視覚的に楽しむだけでなく、手に取って感じるができるオリジナルグッズとして活用することで、ケヤキ並木への興味関心をさらに高めることができるのではないかと思います。市民をはじめ、様々な方々にオリジナルグッズを手にとっていただくとともに、定禅寺通へ訪れていただきたいです。



アサヒユアス
担当者
古原 徹氏 氏

アサヒユアス株式会社は「循環型社会形成に貢献する事業を共創する」ために、2022年にアサヒグループに新設されたベンチャー企業です。

真の循環型社会を実現するためには、高度成長期以降に最適化された「大量生産大量消費」のエコシステムにおける取組みだけでは十分ではなく、小規模でも地域社会と密に連携し、「なぜ、なんのために」モノやサービスを作るのか、しっかりと考え、新規原料をなるべく使用せずに製品を作っていく必要があります。

今回開発した「JSCタンブラー（森のタンブラー）」の素材には、定禅寺通りのケヤキと仙台市のプラ資源を約1:1で活用しています。家庭から回収したプラ資源を活用しているため、タンブラーの表面には、食品衛生上安全なコーティングを施しました。これまでにない素材であり、コーティングには高い技術が必要でしたが、伝統工芸「山中漆器（石川県）」の職人との共創によって実現できました。

様々な場面で長くお使いいただきたい、素敵なタンブラーとなりました。手に取っていただけると嬉しいです。



仙台市環境局
細井 崇久 局長

「杜の都仙台」を象徴するエリアである定禅寺通にて、サステナブルでエコロジーなまちづくりを推進する「定禅寺通サーキュラープロジェクト」が始動したことを心よりお祝い申し上げます。

定禅寺通は、昨年、国により選定された「脱炭素先行地域」の対象エリアの一つであり、現在、「109万市民の"日常"を脱炭素化」をテーマにゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みが重点的に進められており、本市全体の脱炭素都市づくりを牽引することが期待されています。

仙台市としては、2023年4月から市内全域で製品プラスチックの一括回収・リサイクルを全国に先駆けて開始するなど、資源循環の推進に力を入れているなか、リサイクルされたプラスチックと定禅寺通のケヤキの剪定枝を原料にしたタンブラーの制作という先進的な取り組みが行われることは大変喜ばしいことと思っています。

JSCタンブラーをはじめとした定禅寺通サーキュラープロジェクトが順次展開されていくことにより、定禅寺通エリアが一層賑わい、活性化されることを祈念しております。